

令和元年 6 月 19 日 (水)

那覇市健康部 那覇市保健所 保健総務課

担当：瑞慶山 安藤 仲宗根

電話：098-853-7971

報道関係者 各位

## 本日、「インフルエンザ注意報」を発令しました

那覇市では、第 24 週 (R1.6.10～R1.6.16) における定点医療機関からのインフルエンザ報告数が、1 定点あたり 10.59 人 となり、注意報発令基準値 (定点あたり 10 人) を超えましたので、インフルエンザ流行注意報を発令します。(※1)

インフルエンザの予防、拡大防止のために、市民へ注意喚起致します。

「注意報」は流行発生前なら「今後 4 週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと」、流行発生後なら「流行が継続している」を示します

### 1 インフルエンザの流行状況：別添 1

○ 那覇市における第 24 週 (R1.6.10～R1.6.16) のインフルエンザ型別内訳は、A 型 18 人、B 型 94 人、不明 (臨床診断) 15 人となっており、B 型の流行がみられます。

○ 集団発生報告、学級閉鎖報告について

第 21 週：集団発生報告 1 件、

第 22 週：集団発生報告 1 件、学級閉鎖報告 2 件

第 23 週：学級閉鎖報告 1 件

第 24 週：集団発生報告 1 件、学級閉鎖報告 3 件

○ 直近 1 ヶ月 (第 24 週時点) 年齢別内訳をみると、多い順に「5～9 歳」25%、「10～14 歳」22%、「15～19 歳」19%となっています (別添 1)

### 2 インフルエンザについて

○ 潜伏期：1～5 日間 (平均 3 日間)

○ 症状：突然の発熱 (38～39℃)、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感、喉の痛み、咳、痰  
症状は通常 1 週間ほどで軽快することがほとんどですが、肺炎などを合併する場合があります。注意が必要です。

○ 感染経路：飛沫感染、接触感染

### 3 インフルエンザの感染予防対策

- ① 手洗いやうがいの励行（特に外出後）
- ② 咳エチケット  
（咳、くしゃみをする時はティッシュやマスクを使用する。突然のくしゃみは、肘の内側で。手のひらの中でくしゃみをしない。）
- ③ バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとる。
- ④ 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保つ。

### 4 インフルエンザに罹ってしまったら

- 安静にして休養をとりましょう。
- 感染を広げないために、会社や学校を休むようにしましょう。（※2）
- インフルエンザ発症前日から発症後 3～7 日間は鼻やのどからウイルスを排出するといわれています。そのためにウイルスを排出している間は、外出を控える必要があります。
- 基礎疾患のある方や重症化の予兆（意識障害・意味不明な言動・呼吸が早い・顔色が悪いなど）が出た場合は、速やかに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- 咳やくしゃみ等の呼吸器症状がある人はマスクを着用しましょう。

（※1）インフルエンザの流行状況については、感染症発生動向調査事業において那覇市内 8 医療機関（小児科：7、内科：5、合計 12 定点）の協力を得、患者情報を週単位（月曜から日曜）で収集し、全国約 5,000 カ所の定点情報と併せて分析し、市民及び医療機関に情報を提供しています。

感染症発生動向調査システム上の発令基準

流行の兆し	: 定点あたり 1 人以上
流行注意報	: 定点あたり 10 人以上
流行警報	: 定点あたり 30 人以上

（※2）インフルエンザ等の出席停止の期間の基準（学校保健安全法施行規則より）

「発症後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあつては 3 日）経過するまで」